



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
 事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
 TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
 会長:寺井正昭 幹事:成松重人 会報委員長:田中弘

2012年12月4日 第1070回例会(第1069号)

本日の例会

今週の歌 「君が代・我等の生業」
 「年次総会」

次回例会のお知らせ(12月15日)

「クリスマス家族会」

前回〔11月27日〕例会記録

来客
 黒田ク口様(卓話者)

会長の時間 寺井会長

私は、学生時代京都で5年間過ごしました。年末が近づきますと、京の年中行事として歌舞伎の『吉例顔見世興行』が始まります。今年も11月30日から12月26日まで京都南座で開演されます。昨年は良い席のチケットが手に入り久し振りに見に行きましたが、今年は六代目中村勘九郎の襲名披露公演でもあり人気があるようです。

『顔見世』とは、歌舞伎で、1年に1回、役者の交代の後、新しい顔ぶれで行う最初の興行のことです。江戸時代、劇場の役者の雇用契約は1年であり、11月から翌年の10月までが期間でありました。従って役者の顔ぶれは11月に変わり、その一座を観客に見せ、発表するのが『顔見世』です。

『顔見世』は歌舞伎興行において最も重要な年中行事とされ、現在も11月が12月に全国の劇場(芝居小屋)で行われております。なかでも京都南座の12月『顔見世』公演は、最も歴史が古いことで有名で、

出席報告 大井委員

【11月27日】
 在籍会員 37名(内出席規定適用免除者 10名)
 出席会員 28名(内出席規定適用免除者 6名)
 ホームクラブ出席率 84.85%

11月6日のMUを含む出席率 94.12%

南座正面には役者の名前が勘亭流で書かれた『まねき』と呼ばれる木の看板が掲げられ、京都の年末の風物詩となっております。

歌舞伎というのは、京都が発祥の地であり、南座の横に『阿国歌舞伎発祥の地』と刻まれた石碑が建てられています。この歌舞伎の創始者であると言われる『出雲の阿国』が、安土桃山時代に、出雲大社の巫女というふれこみで、京の町に忽然と現れ、斬新な動きや、派手な衣装で『かぶき踊り』をし、一世を風靡しました。この『出雲の阿国』が有名になると、それを真似た芝居が他にも演じられるようになり、遊女が演じる『遊女歌舞伎』や、少年の演じる『若衆歌舞伎』が生まれました。しかし、江戸時代には、風紀を乱すとの理由から、これらの歌舞伎が幕府から禁止されました。その後、成人男子だけで演じる『野郎歌舞伎』が出来、それが現代の歌舞伎のスタイルとなっております。

幹事報告 成松幹事

GSEチーム受入第1回打ち合わせ会議のご案内
 日時: 12月4日(火)18:00~20:00
 場所: ホテル阪急エキスポパーク3F「緑樹の間」
 寺井会長よろしくお願い致します。

関西大学RAC例会出席担当
 Aグループ 山崎、東、堀田、北山、長島、
 田中(茂)、渡辺各会員

12月10日(月)・17日(月)
 会場: 関西大学千里山キャンパス
 中央体育館 図書資料室
 時間: 19:00~20:00

卓 話

「心ココロ心ココロ」

漫画家・漫遊書家・講演家

黒田クロ様



はじめに

言葉は「^{ことだま}言霊」といって、自分の心の魂に言い聴かせています。また、「言刃」といって、相手の心を殺傷する道具にもなり、料理する道具にもなります。

人生、悩みなく生きられた人が最高の人生です。だけど、悩まず生きてきた人なんて一人もいない。悩まなくていい人が悩んでいたり、悩んだ方がいいと思われる人が悩んでいなかったりする。悩むことは、自分を観つめ、自分を深くさせてくれているチャンスです。そんなときに出会った言葉で人生を変え、楽しい人生を送っている人は沢山います。気づいた人です。

人生お一人様一回限り 時は命を削っている

みんなこの世に生まれてきたときから死に向かって生きている。

人生を二回やった人はひとりもいない。一回限りの人生を夢を持って、今を大切に頑張っている人。夢なんて、やってみないとわからないと思っている人。夢は、眠ってみるものと思っている人。時は、命なりと考える人。時は金なりと考える人。時は、過ぎて行くものとする人。

気づきの差で、人生の差がつくようだ。

判断に迷ったら10年先を考える

10年先を見ている人は、目先のことに迷わない。

10年後の「あるべき姿」が描ける。

与えられた勉強をしている人と自分で創った勉強をしている人では大違い。進路、就職、結婚、教育、老後...すべて人生の決断は、自分が決めている。自分の思った方に行っている。目先の利に走る人は、安きに流れる。10年先を考え行動する人は、迷わず心が定まる。

これを「見識」という。

第2組IMが平成25年2月2日(土)に開催されますが、当日の出欠表を回覧しますので、ご都合をお知らせください。

12月4日(火)は、年次総会です。開催通知は先週郵送いたしました。ご確認ください。

次週12月11日(火)の例会はありません。家族会のため12月15日(土)に変更しております。

12月25日(火)は、休会です。

当クラブでは、年賀状のやり取りはしないことが、慣例になっておりますので、よろしくお願いたします。

米山奨学会より、米山功労者の感謝状が届いております。会長より贈呈。

橋本(第1回)、今村(第5回)、渡辺(第5回)各会員。

ニコニコ箱

赤尾会員 黒田クロ先生、本日の卓話、宜しくお願い致します。

橋本会員 欠席のおわび。

西村会員 ロータータッチ忘れて。

庄瀬会員 前回欠席のおわび。

本日分 28,000円

累計 606,000円

関西大学RAC第53回例会出席報告

北村(雅)会員

日時:11月26日(月) 19:00~20:00

場所:関西大学千里山キャンパス
中央体育館 図書資料室

出席者:北村(康)、金馬、北村(雅)

他クラブよりの来客も含め、13~14名の参加であった。

テーマは“今年の目標”でマンツーマンで話し合い、相手の現況を発表するものである。ある4回生の学生は、就職を鳥取県で決めた。両親が鳥取県に住んでいて、長男である自分が両親の面倒を見ていくという。今頃でもこんな親孝行な若者がいることに感動して嬉しかった。今、ローターアクトの会員は10名、4回生が卒業すれば3名になってしまう。心配を胸に帰路についた。